

# 2021年3月期 連結決算説明会

2021年5月21日



株式会社 シード



証券コード  
7743

- 1. 2021年3月期 決算概要**
- 2. 2021年3月期 トピックス**
- 3. 3ヶ年中期経営計画振り返り**
- 4. 2022年3月期 見通し**
- 5. 参考資料**

- 1. 2021年3月期 決算概要**
2. 2021年3月期 トピックス
3. 3ヶ年中期経営計画振り返り
4. 2022年3月期 見通し
5. 参考資料

新型コロナウイルス感染拡大の影響により減収となるも子会社の事業譲渡に関連する特別利益計上により増益

連結	[百万円] 百万円未満切捨て	2019/3期	2020/3期	2021.2.5付 公表数値※1	2021.5.7付 公表数値修正※2	2021/3期	前期比較	
							増減額	増減率
売上高		29,489	31,792	28,500	28,600	28,617	△2,303	△10.0%
粗利益		13,369	14,182	—	—	12,411	△1,771	△12.5%
(粗利率)		45.3%	44.6%	—	—	43.4%	△1.2%	
販管費		11,494	12,449	—	—	11,215	△1,234	△9.9%
営業利益		1,874	1,733	1,000	1,190	1,195	△538	△31.0%
(営業利益率)		6.4%	5.5%	—	—	4.2%	△1.3%	
経常利益		1,840	1,691	950	1,200	1,211	△480	△28.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益		963	252	900	1,100	1,129	+877	+346.6%

※1: 2月5日時点の実績値  
※2: 5月7日時点の実績値

## 売上高

### コンタクトレンズ・ケア用品（国内）

- ・メイク機会減少に連動し、サークル・カラーレンズの落ち込み
- ・遠近両用レンズの需要増により、前年同期比4.2%増
- ・オルソケラトロジーレンズ市場は着実な進展を示し、前年同期比26.3%増
- ・コンタクトレンズ使用機会減少により、ケア用品は前年同期比大幅減

### コンタクトレンズ・ケア用品（海外）

- ・中国市場はいち早い回復を示し、伸長
- ・東南アジア諸国・台湾・インド・欧州諸国の市場は厳しい状況で推移

親会社株主に帰属する

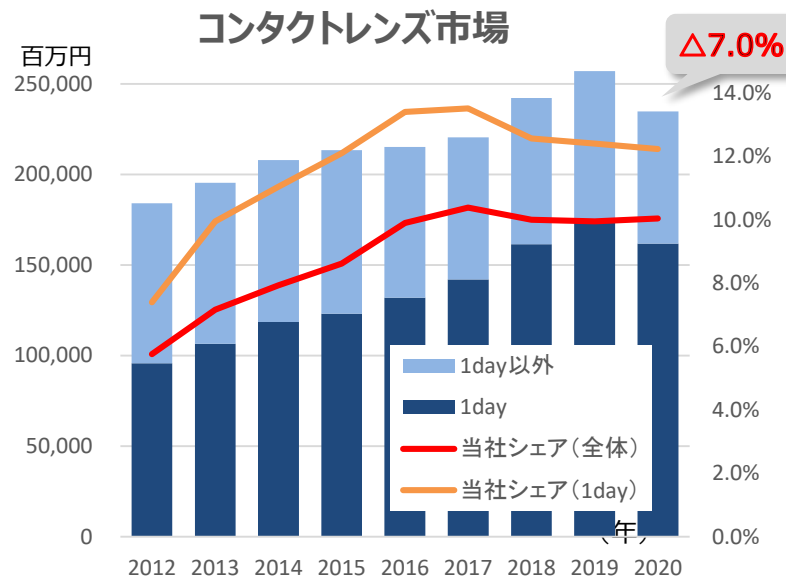
## 当期純利益

- ・連結子会社である(株)アイスペースのコンタクトレンズ販売事業を譲渡し700百万円の事業譲渡益を計上
- ・スイス・ドイツ子会社・アイスペースの貸倒引当金等を計上し、特別損失を計上

## 株主還元

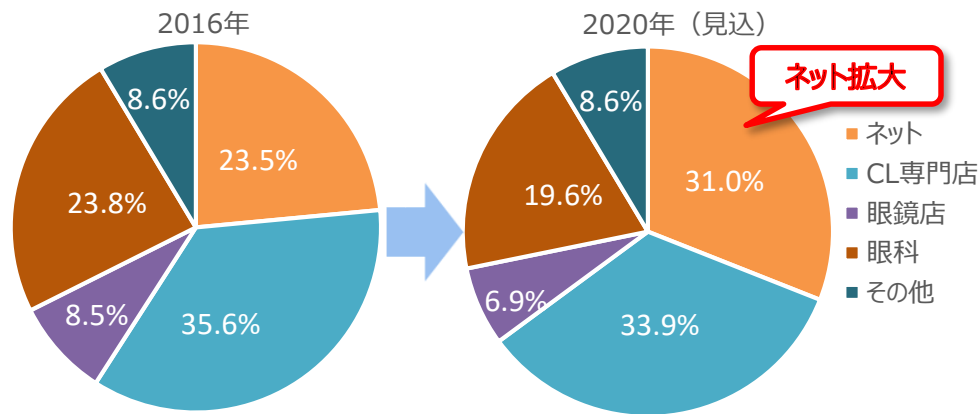
- ・期末配当 1株当たり12円を維持
- ・2021年3月31日に自己株式2,302,578株を消却

在宅勤務の定着、スポーツ・イベント及び学校の部活動等の中止による外出機会の抑制がコンタクトレンズの需要全般を減少



※メーカー出荷額ベース (当社推計:日本コンタクトレンズ協会出荷額調査ベース)

### コンタクトレンズ市場販売チャネル



※当社推計:富士経済調査ベース

### 対前年同四半期 連結売上増減率

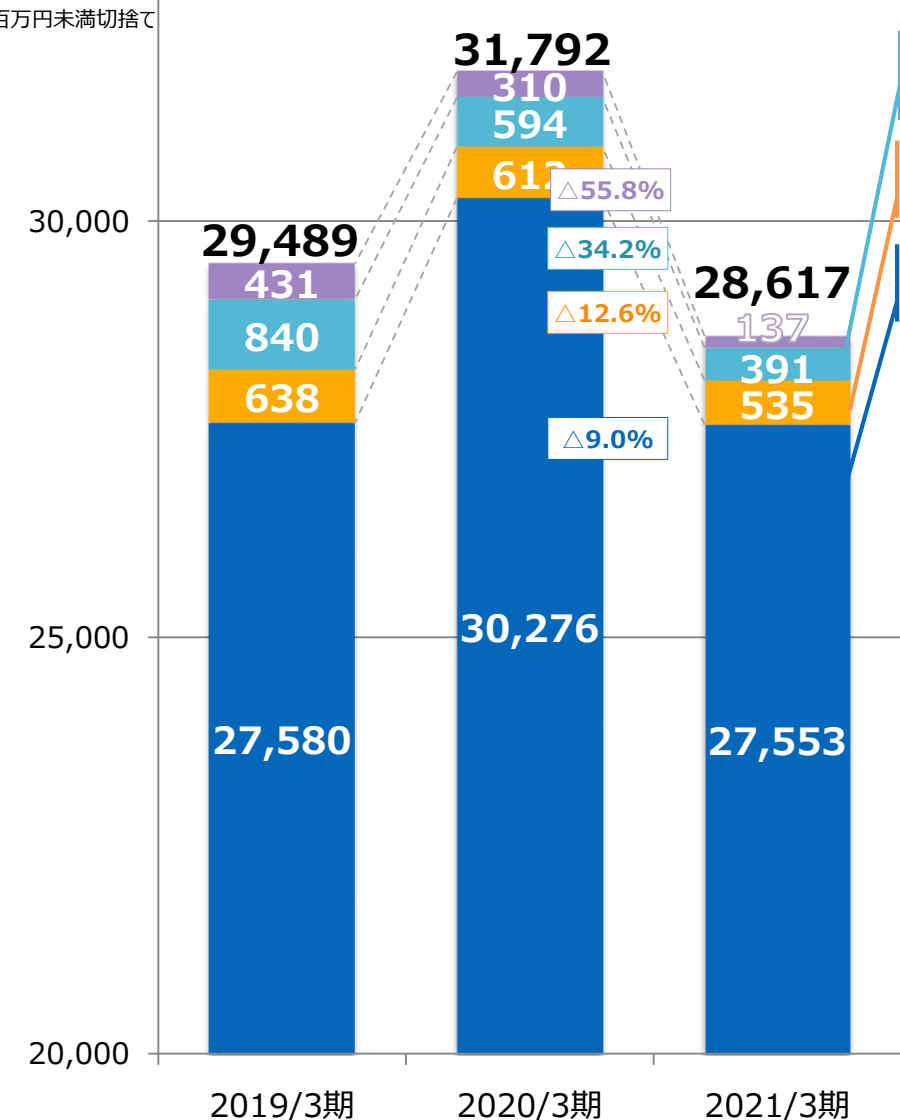
第1四半期 (2020年4~6月)	△20.6%	デパート等営業自粛。眼科等への直接の営業活動が大幅に制限。在宅勤務の拡大、学校の休校等により、コンタクトレンズ使用機会が減少。
第2四半期 (2020年7~9月)	△19.1%	緊急事態宣言解除後、経済活動が徐々に拡大。前年は9月に消費増税の駆け込み需要があったため、対前年比はマイナス。
第3四半期 (2020年10~12月)	+6.6%	補正予算等の経済対策の効果等により回復。前年は10月に消費増税駆け込み需要の反動があったため、対前年比はプラス。
第4四半期 (2021年1~3月)	△4.4%	国内の感染者が再び急激な増加に転じ、再び不透明な状況に。卒業・入学シーズンにはやや回復。

# 売上高の状況：事業別

連結

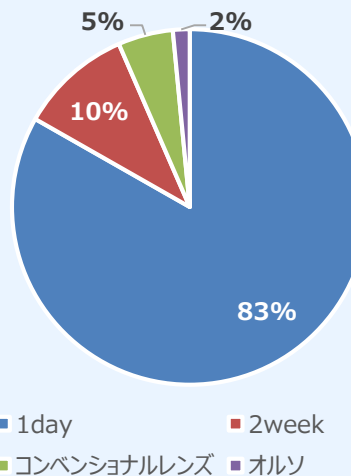
[百万円]

■コンタクトレンズ ■ケア用品 ■眼鏡 ■その他 ※コンタクトレンズ：光学器械含む その他：眼内レンズなど

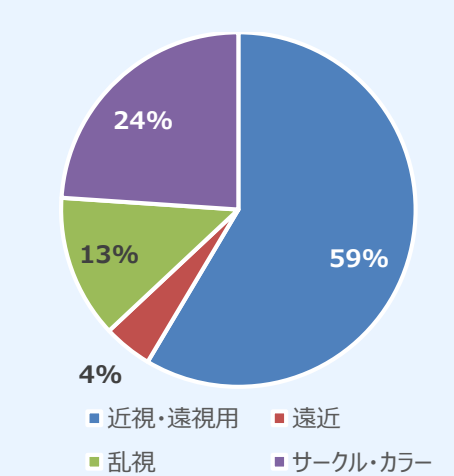


- ✓ コロナによる買い控えの傾向
- ✓ コンタクトレンズと連動し、ケア用品使用機会減少
- ✓ 外出機会の抑制がコンタクトレンズの需要全般を減少

売上高カテゴリー比率



売上高1dayカテゴリー比率



カテゴリー別対前期増減比率 (単体卸売ベース)

ワンデーピュア	5.7%減	2ウィークピュア	3.4%減
ワンデーファイン	15.0%減	サークル・カラー	16.7%減
オルソケラトロジー	26.3%増	遠近両用	4.2%増

※ワンデーファイン以外はシリーズ合計

※遠近両用は使い捨てとコンベンショナル合計 (東レ製品は除く)

# 売上高の状況：コンタクトレンズ事業 四半期推移

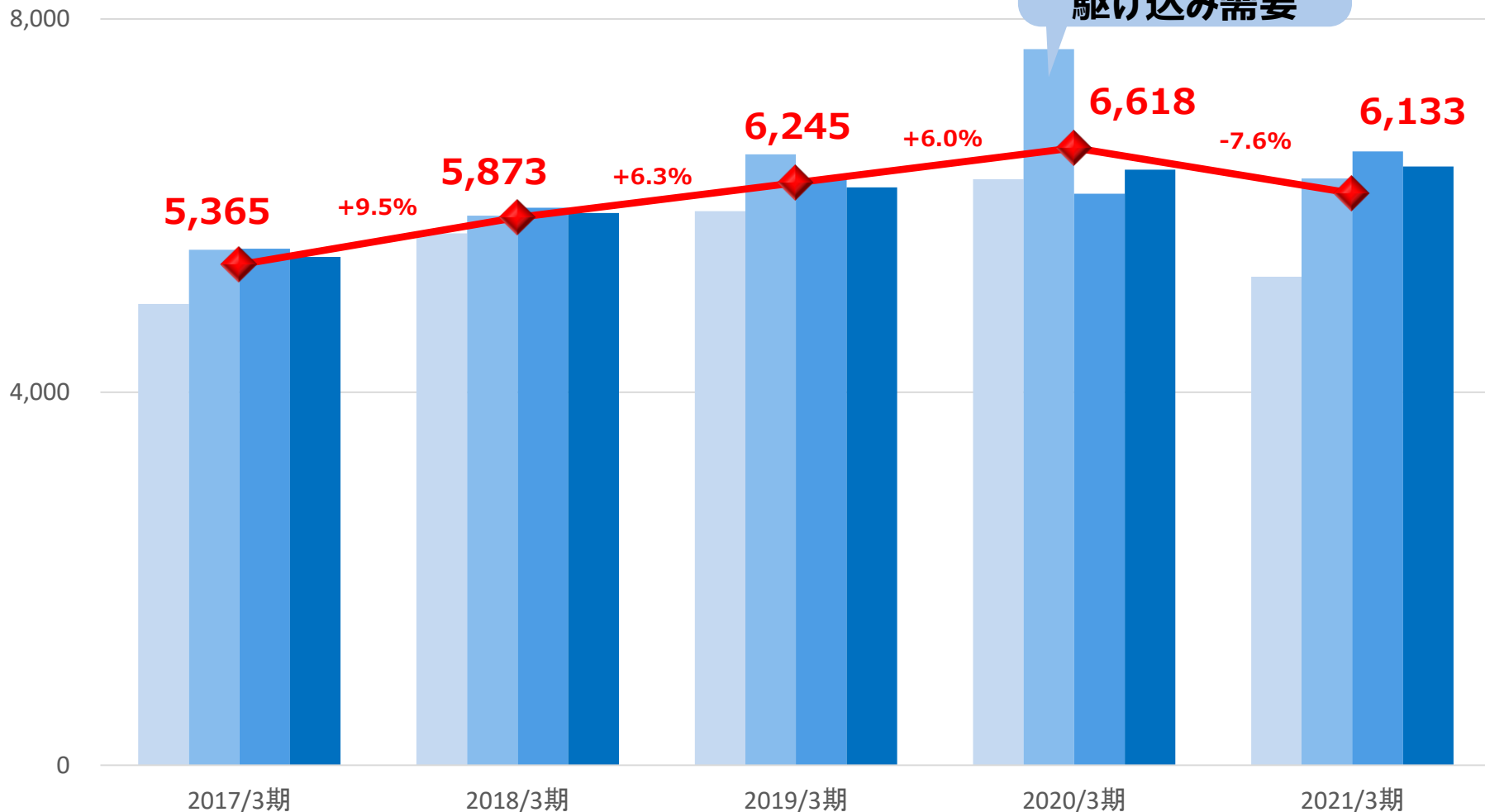
単体 ※卸売りベース

[百万円]

百万円未満切捨て

1 Q 2 Q 3 Q 4 Q ◆ 四半期平均

消費税増税前の  
駆け込み需要

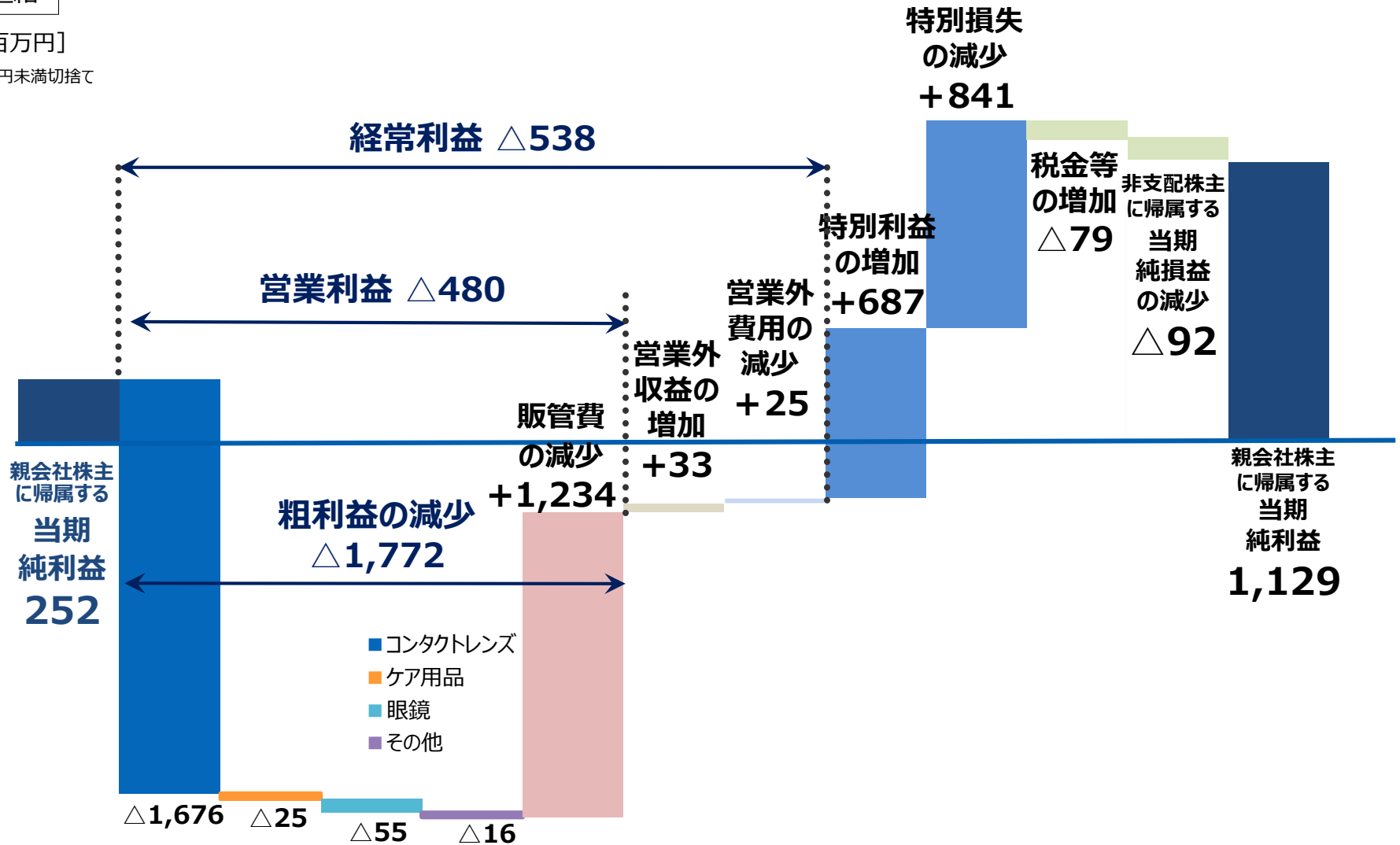


# 当期純利益：増減分析

連結

[百万円]

百万円未満切捨て

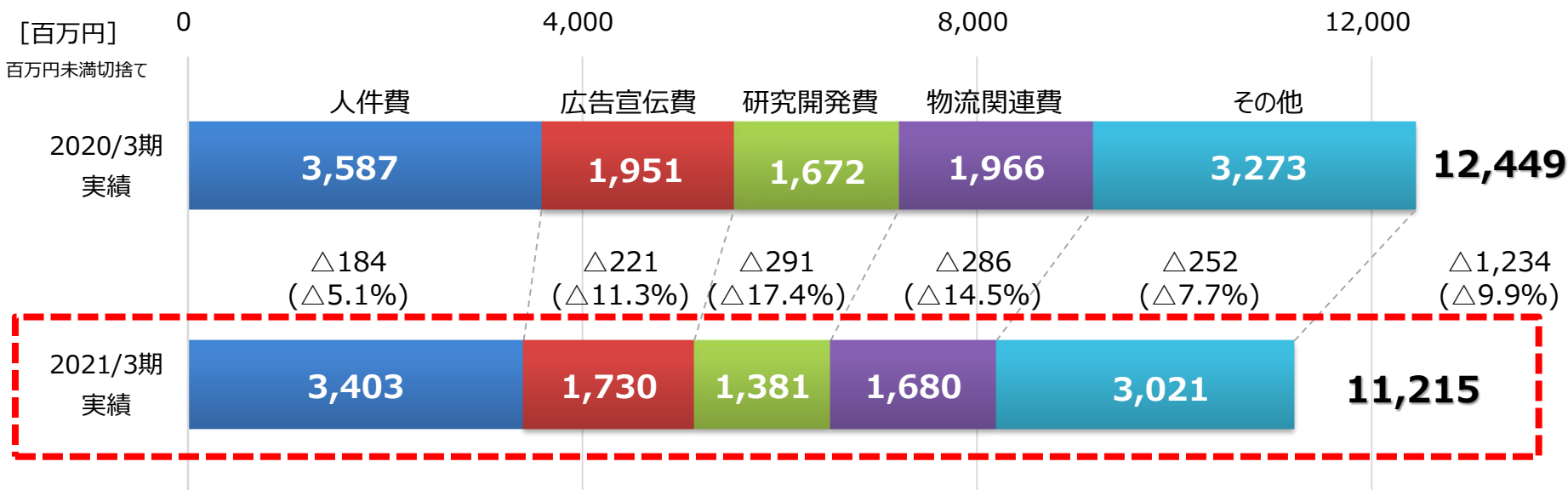


2020/3期

2021/3期



連結



- **人件費** : 在宅勤務の推奨による残業の減少や賞与・役員報酬額等の減額
- **広告宣伝費** : CM・プロモーション費用抑制、国内・海外の展示会、イベント等の中止
- **研究開発費** : 新型コロナウイルス感染症の影響による共同研究費・委託研究費の減額
- **物流関連費** : 出荷数減少により、物流関連費が減少
- **その他** : 旅費交通費、新商品のトライアルレンズ費用、減価償却費など

# 財務状況推移

連結

[百万円]

百万円未満切捨て

	2020/3期		2021/3期		前期比較
	金額	構成比	金額	構成比	
<b>資産の部計</b>	<b>41,591</b>	<b>100.0</b>	<b>41,261</b>	<b>100.0</b>	<b>△330</b>
流動資産	17,482	42.0	17,106	41.5	△376
内 現預金	3,644	8.8	3,955	9.6	+311
商品及び製品	6,206	14.9	5,772	14.0	△305
貸倒引当金	△108	-	△103	-	+5
固定資産	24,109	58.0	24,155	58.5	+46
内 有形固定資産	19,954	48.0	20,588	49.9	+634
無形固定資産	1,680	4.0	1,045	2.5	△635
<b>負債の部計</b>	<b>30,828</b>	<b>74.1</b>	<b>29,606</b>	<b>71.7</b>	<b>△1,222</b>
流動負債	20,295	48.8	16,904	41.0	△3,391
内 短期借入金	14,352	34.5	12,048	29.2	△2,304
短期リース債務	1,113	2.7	1,271	3.1	+158
固定負債	10,532	25.3	12,702	30.8	+2,170
内 長期借入金	5,220	12.6	7,159	17.4	+1,939
長期リース債務	2,250	5.4	2,378	5.8	+128
<b>純資産の部計</b>	<b>10,763</b>	<b>25.9</b>	<b>11,654</b>	<b>28.2</b>	<b>+891</b>
<b>負債・純資産計</b>	<b>41,591</b>	<b>100.0</b>	<b>41,261</b>	<b>100.0</b>	<b>△330</b>

- ・ジルスチュアート1dayUVの評価損を反映
- ・欧州品在庫の破棄
- ・仕入・生産数調整
  - 商品は、販売権譲受に伴い東レ製レンズが増えたが、他仕入品を圧縮(△58%)
  - 製品はBCPの観点から積上げ(+122%)

倉庫棟竣工・設備導入等

- ・Wöhlkの無形固定資産を全額減損処理
- ・アイススペースのれん償却

コロナ対策のための借入を在庫適正化等で生じた資金で返済

## キャッシュ・フロー：主要項目

連結

[百万円]

百万円未満切捨て

	2020/3期	2021/3期	前期比較
<b>営業活動によるC・F</b>	<b>3,897</b>	<b>3,690</b>	<b>△207</b>
内 税金等調整前純利益	490	1,539	+1,049
減価償却費	2,652	2,721	+69
売上債権の増減	△272	614	+886
たな卸資産の増減・ 前渡金の増減	594	319	△275
事業譲渡損益（△は益）	—	△700	△700
<b>投資活動によるC・F</b>	<b>△2,649</b>	<b>△1,663</b>	<b>+986</b>
内 有形固定資産取得	△2,269	△2,145	+124
無形固定資産の取得	△334	△29	+305
<b>財務活動によるC・F</b>	<b>△273</b>	<b>△1,726</b>	<b>△1,453</b>
内 短期借入金の純増減額	1,384	△2,670	△4,054
長期借入金の借入	2,550	5,653	+3,103
長期借入金の返済	△2,595	△3,386	△794
リース債務の返済による支出	△959	△984	△25
<b>現金及び現金同等物 期末残高</b>	<b>3,644</b>	<b>3,955</b>	<b>+311</b>

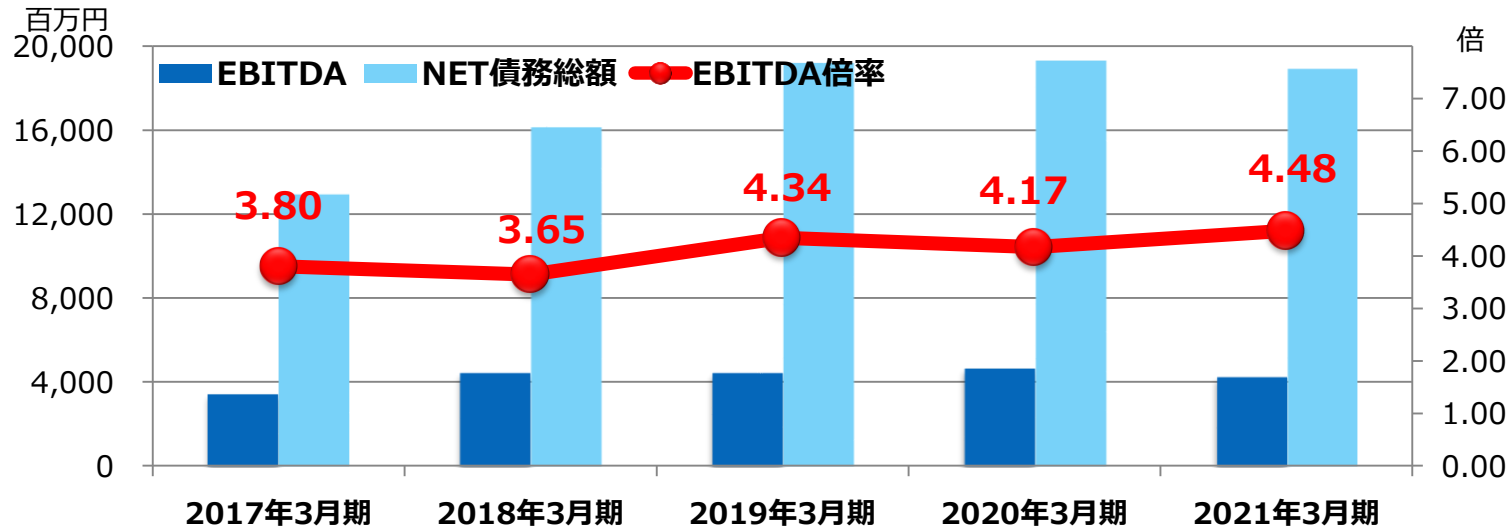
HOYA社へアイスペースの  
事業を譲渡コロナ対策のための借入を  
在庫適正化等で生じた  
資金で返済

## キャッシュ・フロー：関連指標推移

連結

[百万円] 百万円未満切捨て

	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021年3月期
営業活動によるC・F	2,158	3,012	△170	3,897	3,690
投資活動によるC・F	△4,643	△5,312	△1,895	△2,649	△1,663
財務活動によるC・F	2,322	2,177	2,957	△273	△1,726
<b>EBITDA</b>	<b>3,406</b>	<b>4,422</b>	<b>4,415</b>	<b>4,621</b>	<b>4,218</b>
<b>EBITDAマージン</b> EBITDA÷売上高	<b>13.9%</b>	<b>15.9%</b>	<b>15.0%</b>	<b>14.5%</b>	<b>14.7%</b>

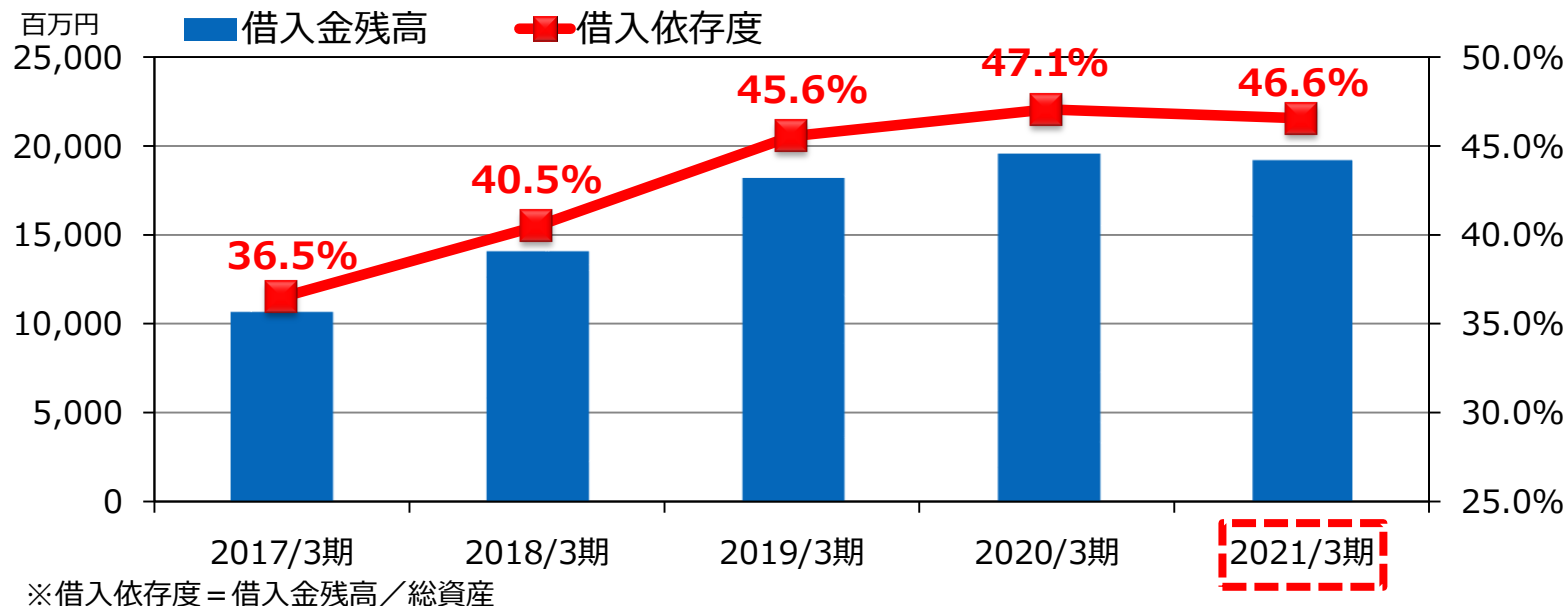


※EBITDA=経常利益+減価償却費+のれん償却+支払利息

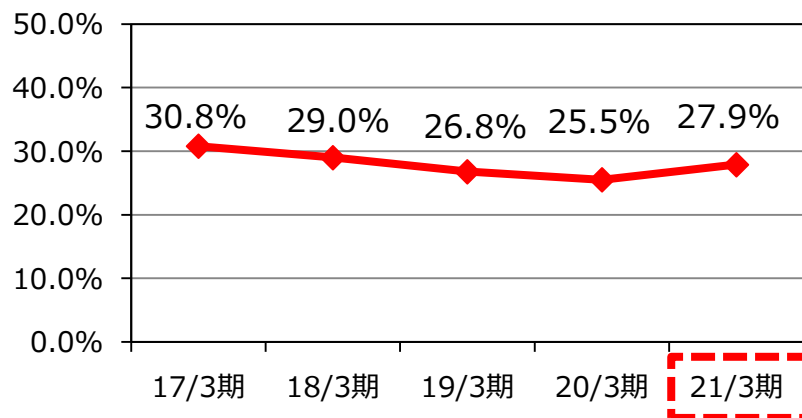
※NET債務総額=有利子負債+リース債務-現預金

連結

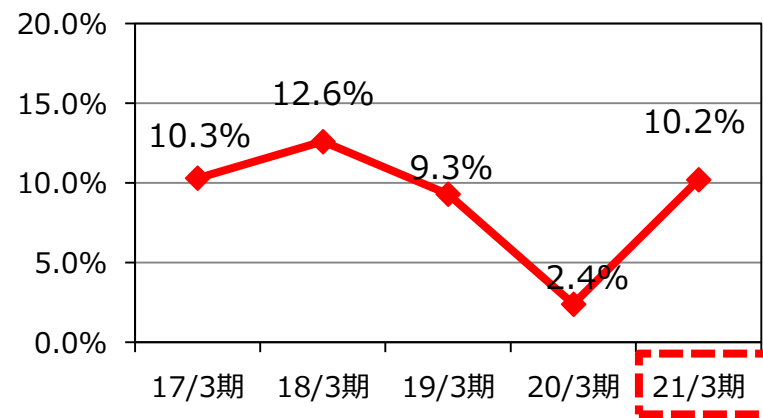
## ◆借入金の推移



## ◆自己資本比率



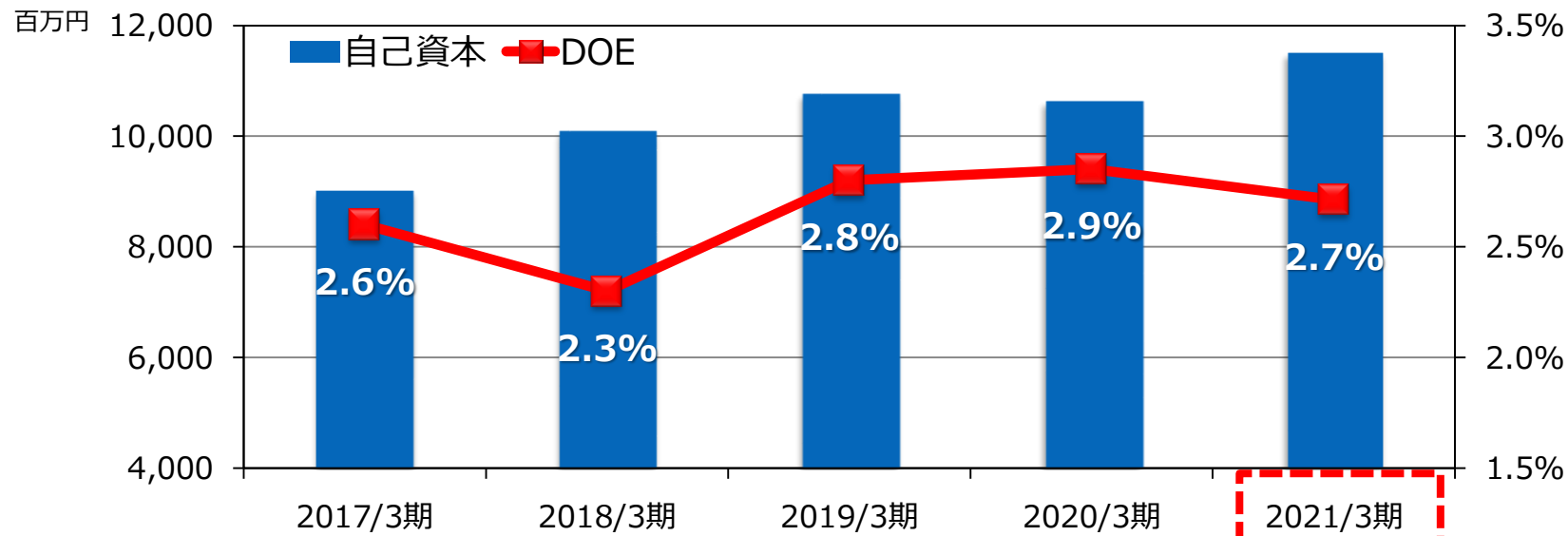
## ◆自己資本当期純利益率 (ROE)



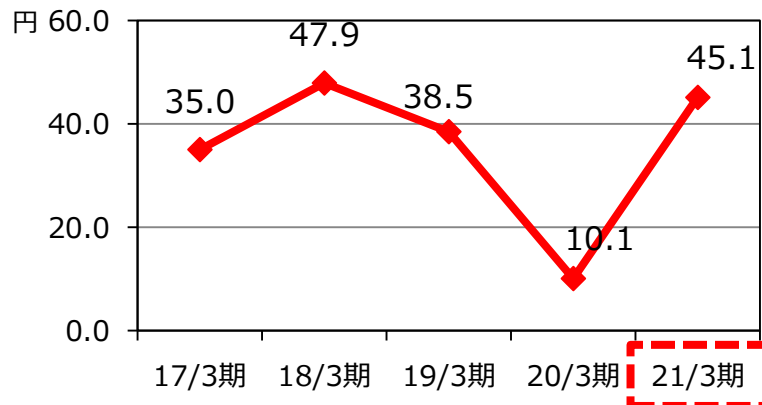
## 財務・株価指標：推移②

連結

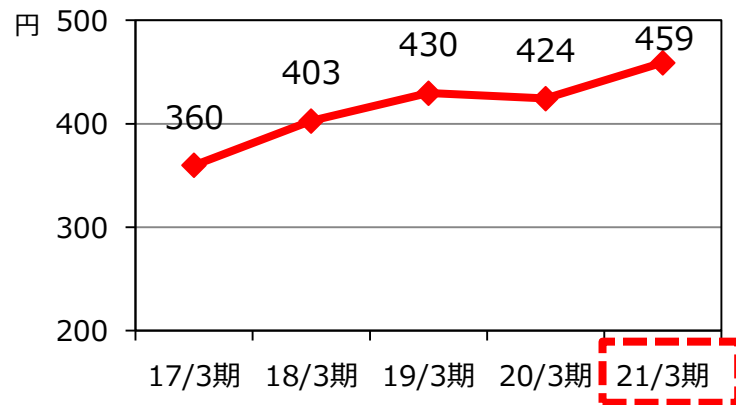
## ◆株主資本配当率(DOE)



## ◆1株当たり純利益

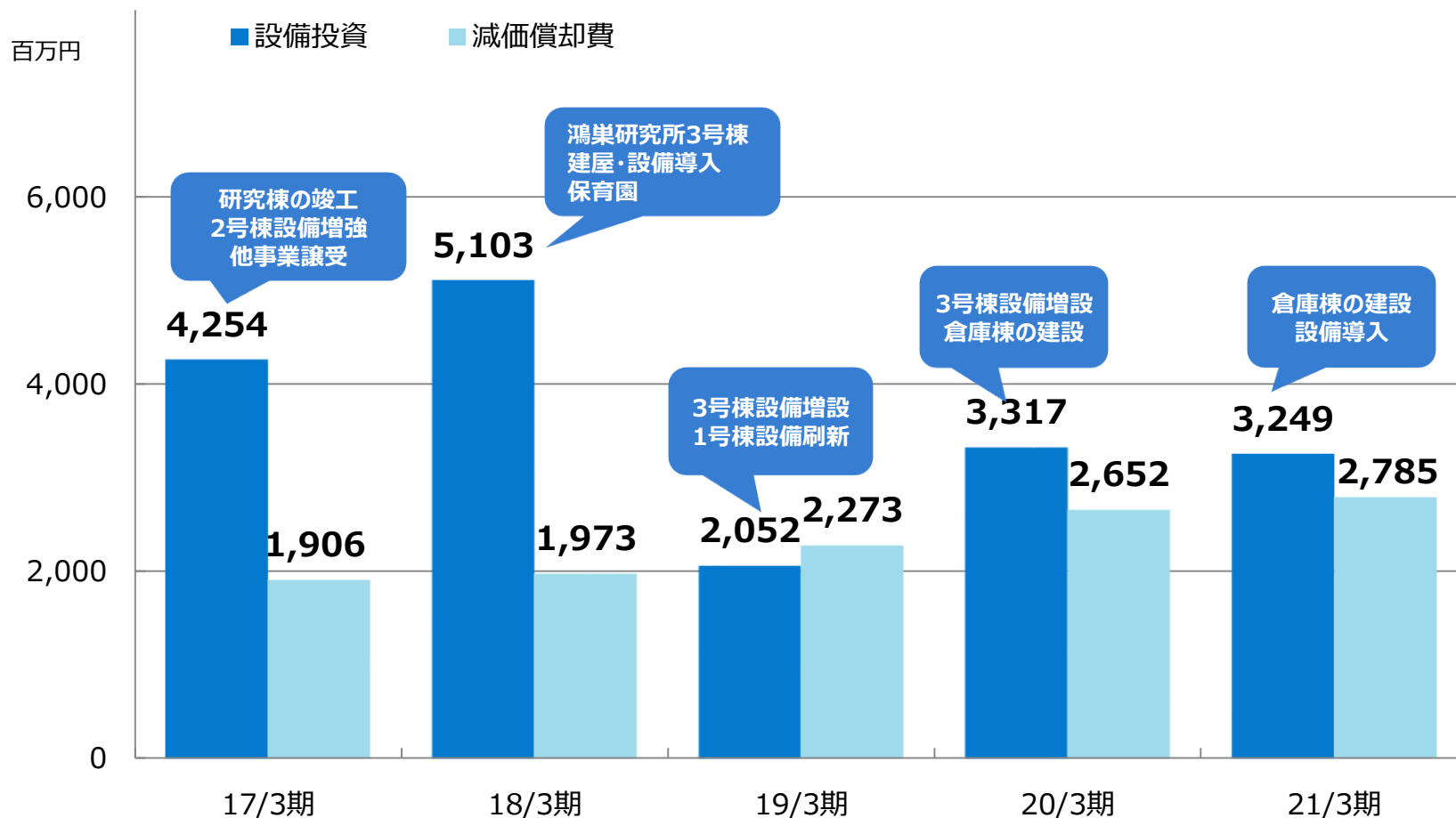


## ◆1株当たり純資産額



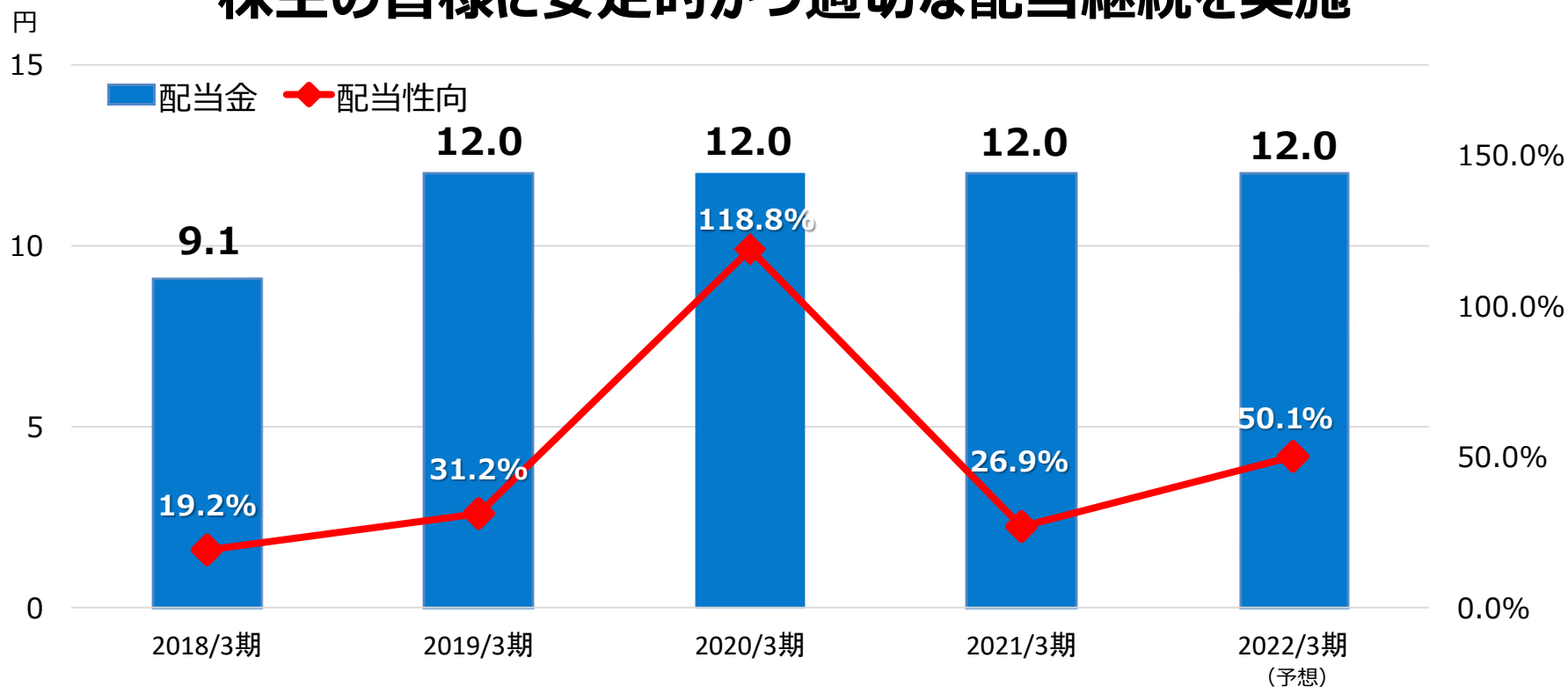
※当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2015年3月期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産額を算出しております。

## 生産力拡大の対応・多品種少量生産のための設備投資を実施



※設備投資額は、有形固定資産ベース(リース資産含む)  
 ※減価償却費は、有形・無形(のれん除く)・長期前払費用

## 株主の皆様へ安定的かつ適切な配当継続を実施



※当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減収となったが、親会社株主に帰属する当期純利益は大幅な増益を達成

**1株あたり年間配当金額**

1株につき **12円**



1. 2021年3月期 決算概要
- 2. 2021年3月期 トピックス**
3. 3ヶ年中期経営計画振り返り
4. 2022年3月期 見通し
5. 参考資料



「見える」で世界にイノベーションを。

## UNIVERSAL VIEW

- ・5月20日付で(株)ユニバーサルビュー（以下UV社）の株式を既存株主から購入。持ち株比率100%となり連結子会社に。
- ・UV社がレンズデザインを所有する「ブレスオーコレクト」の製造、素材提供を東レ社が行い、シードが販売を行う。
- ・市場の伸びが大きい国内オルソ市場においてトップシェアである「ブレスオーコレクト」の拡販を進め、新しい収益の柱として育てる。

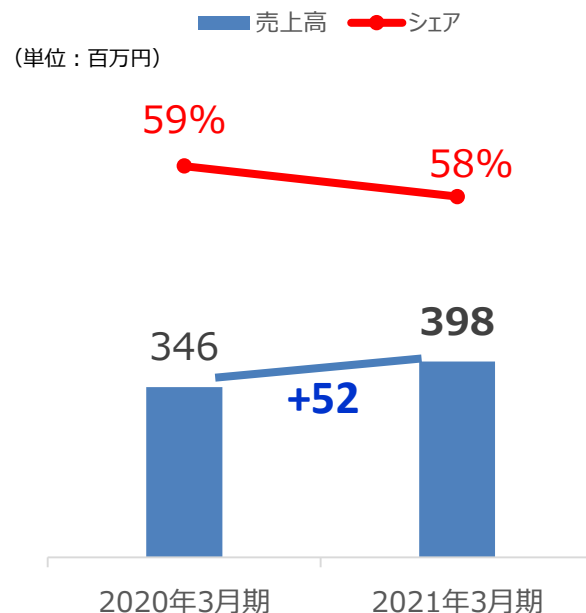
**2022年3月期目標：国内シェア60%**

### オルソケラトロジーとは？

オルソケラトロジーとは、近視及び近視性乱視の方が寝る時にレンズを装用することで、角膜形状を変化させ、脱着後の裸眼視力を改善させる治療法。

変化した角膜形状は一定時間維持され、その間の裸眼視力は改善される。

### ブレスオーコレクト売上高



2020年12月 海外にて発売



## 当社初のシリコンハイドロゲル素材の 1日使い捨てソフトコンタクトレンズ

スイス・デンマークを皮切りに、海外において発売。ドイツ Wöhlk社（当社子会社）の開発素材と当社設計デザインのコラボレーションで誕生した国産製品。当社ならではの1箱32枚入り等が特長。

2021年4月14日 新発売

SEED

SEED 1dayPure  
THE SUPER EYE CARE  
View Support

SEED 1dayPure  
32

スマホで息抜き？  
あなたは 瞳は休めていません。

現代人の「スマホ眼」に。  
近くを見つづける瞳をサポートするレンズ

View Support シリーズ

Eye coffret  
1day UV M  
Rich make

View Support

販売名：1dayPure UP  
承認番号：2210082X00759000  
販売名：1day Eye coffret 1day UV M  
承認番号：2300082X00759000

## 「現代人のスマホ眼(め)」に 近くを見つづける瞳をサポートするレンズ

スマートフォンやパソコンは、現代人にとって必要不可欠なツールである一方、目にストレスを与える要因にもなっている。当製品は、デジタルデバイス使用時をはじめとする「近くを見つづける瞳のサポート」による、ピント調節の負担軽減を目指して開発。

1. 2021年3月期 決算概要
2. 2021年3月期 トピックス
- 3. 3ヶ年中期経営計画振り返り**
4. 2022年3月期 見通し
5. 参考資料

2018年6月1日開示 3ヶ年中期経営計画

～ 61年目からの新たな挑戦～  
**日本のシードから世界のSEEDへ**  
“より多くのお客様の『見える』をサポートする”

製造メーカーとしての生産規模の拡大と製品の多様化を実現し、  
連結売上高400億円を目指す土台作りの3年間と位置付ける

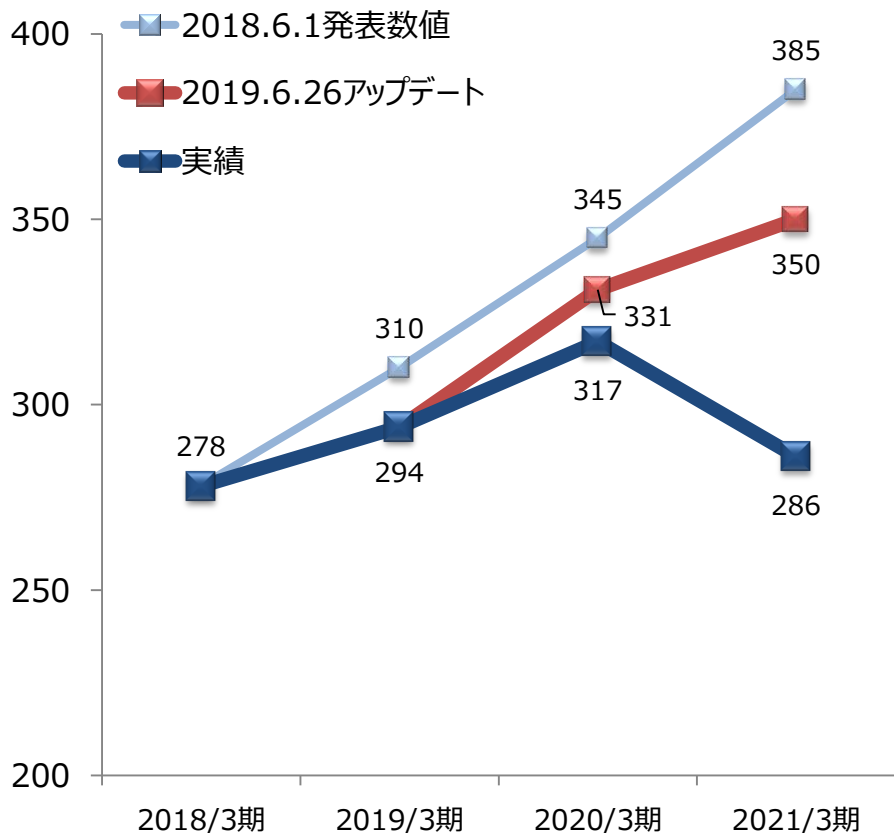
**“『*Made in Nippon*』と『*Japan Quality*』のプライドを通じて  
安全で高品質な製品とサービスを提供することを追求”**

日本国内での安定した成長と同時に積極果敢な世界展開を実現  
積極的に研究開発費用を投下し、計画的かつ確実な研究成果（商品開発）を実現  
省人化・自動化などの技術力の向上により規模の拡大・多品種少量生産を実現  
検査用・治療用・医療用等の新たな付加価値をコンタクトレンズに実現  
ダイバーシティと多様な働き方を実現、CSR（企業の社会的責任）の充実

# 中期経営計画：売上計画・実績（連結）

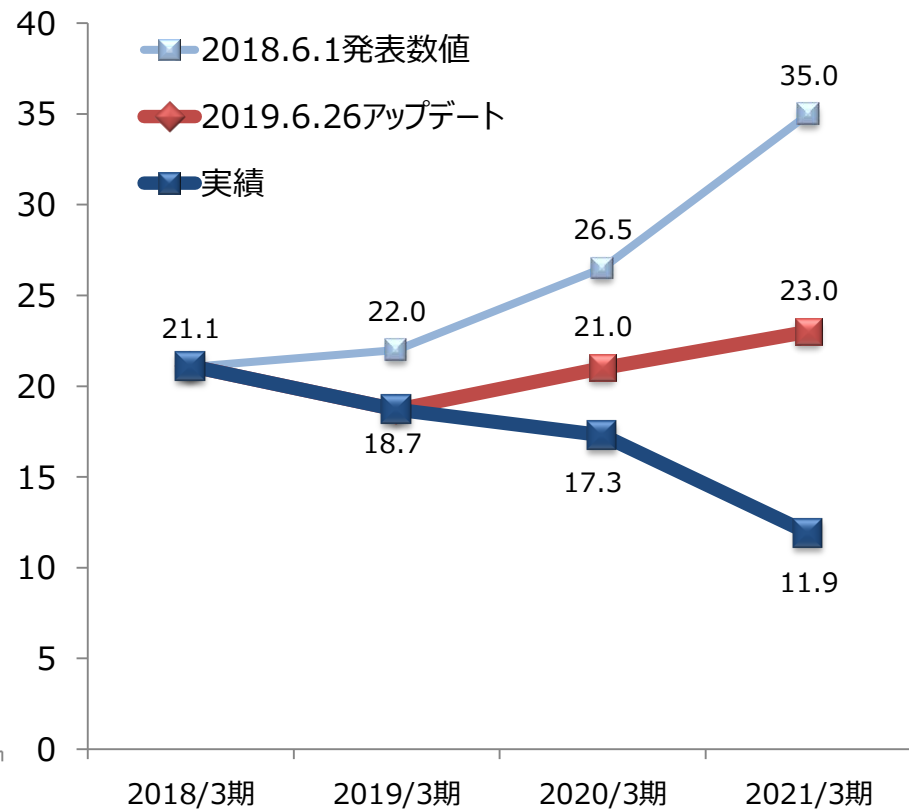
## 《売上高》

(億円)



## 《営業利益》

(億円)



**新型コロナウイルス感染拡大の影響により、売上高・営業利益は目標未達となったが、定性的な目標については概ね達成**

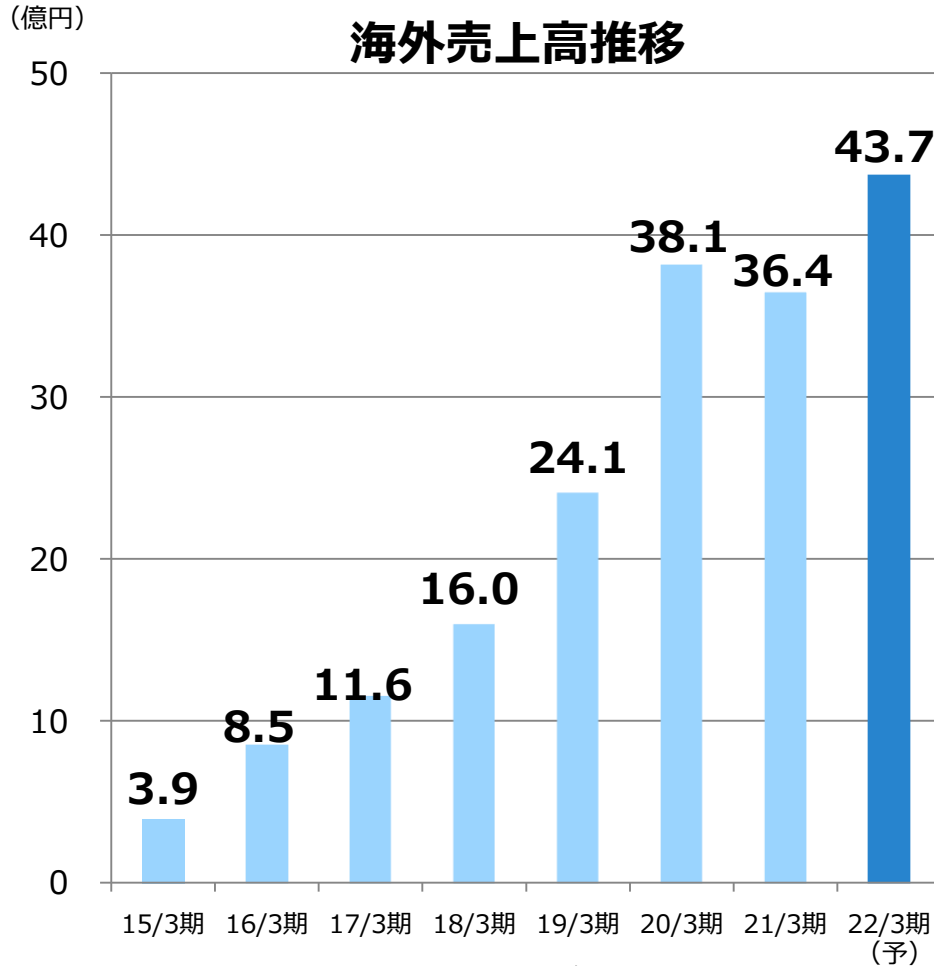
計画			
国際展開	日本国内での安定した成長と同時に積極果敢な世界展開を実現	3ヶ年実績	・アジア地域、ヨーロッパ地域を中心に40以上の国と地域に展開。英国、ドイツの製造・販売会社を買収。豪州、ベトナムに販売会社を設立
		今後の課題	・現地法人の収益力の強化
生産体制強化	省人化・自動化などの技術力の向上により規模の拡大・多品種少量生産を実現	3ヶ年実績	・鴻巣研究所3号棟の本格稼働、倉庫棟の活用により、効率的な生産体制を実現
		今後の課題	・DXによる生産の効率化・省人化を推進
商品開発/ 新たな付加価値	・積極的に研究開発費用を投下し、計画的かつ確実な研究成果（商品開発）を実現 ・検査用・治療用・医療用等の新たな付加価値をコンタクトレンズに付与	3ヶ年実績	・EDOFをはじめとしたオリジナリティ高い光学デザイン創出 ・シリコンハイドロゲル素材を採用したSilfaを日本に先駆けて欧州で製品化 ・スマートコンタクトレンズの先駆けとして世界で唯一実用化されているTriggerFishを市場に展開。同製品を開発したSensimed（スイス）を買収
		今後の課題	・医薬品との融合を目指した多様な製品の實用化 ・実用性の高いスマートコンタクトレンズの製品化 ・近視進行抑制などの新たなニーズへの対応 ・他分野への事業展開の推進
サステナビリティ	ダイバーシティと多様な働き方を実現、CSR（企業の社会的責任）の充実	3ヶ年実績	・複合型保育園の設立、在宅勤務の導入。廃プラに対応した「BLUE SEED PROJECT」や子どもを対象としたイベント等を新たな取組を多数展開
		今後の課題	・カーボンニュートラルを目指し循環型事業システムの構築

※新たな中期経営計画は、今後の状況を見極めながら、定量的に算定が可能となった段階で速やかに公表いたします

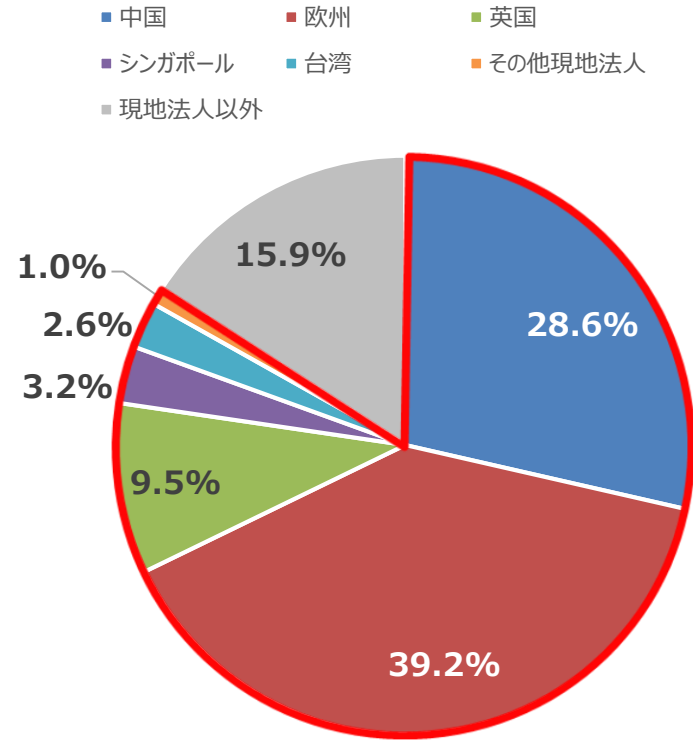
## Made in Nippon/Japan Qualityを世界へ

アジア地域、ヨーロッパ地域を中心に **40以上の国と地域** に展開中

既存取引国では、地域の特徴に即した展開を図りながら、未進出国へ積極的にアプローチを進めていきます



### 海外売上高構成比 (2020年)



※現地法人売上 + 当社から現地代理店への卸売合計



埼玉県にある鴻巣研究所の3つの生産棟（研究棟を除く）は、コンタクトレンズ製造能力では国内最大※を誇る工場です。

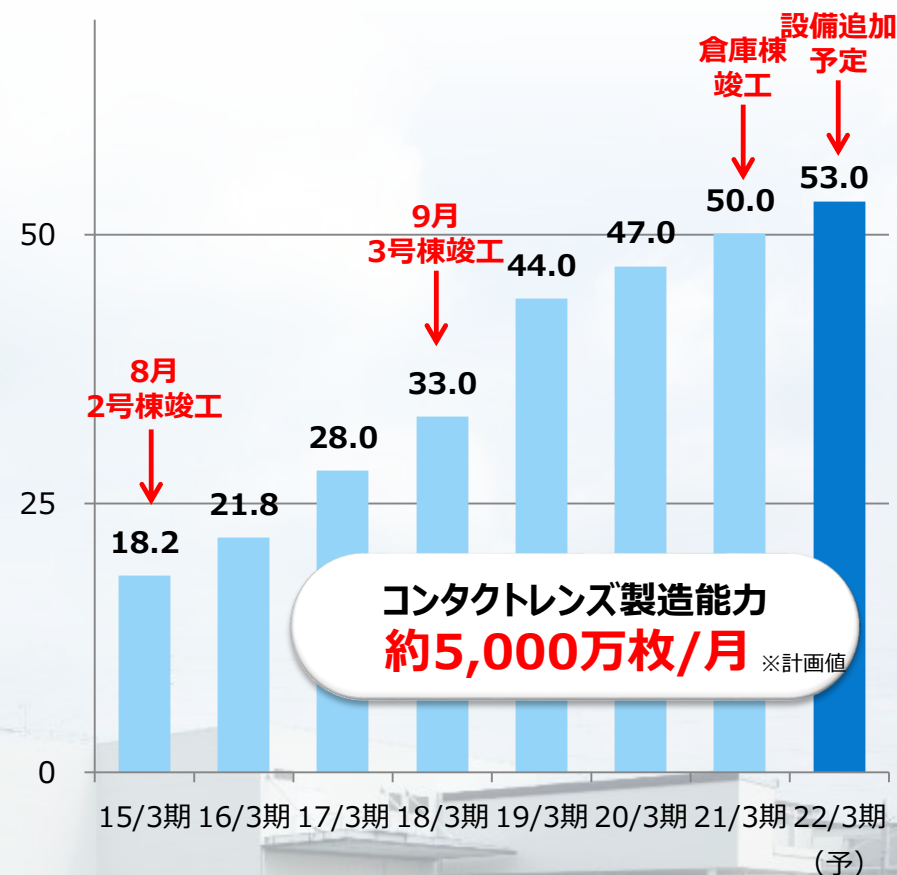
※当社調べ

<鴻巣研究所全体の鳥瞰図>



建物名	延べ床面積	ライン
1号棟	約14,200㎡	多品種対応ライン
2号棟	約9,700㎡	超大量生産ライン
3号棟	約12,500㎡	大量生産ライン
研究棟	約3,640㎡	—
資材倉庫棟	約2,250㎡	—
製品倉庫棟	約5,000㎡	—

(百万枚) <月間製造能力推移 (1day・2week) >



## 非コモディティ製品である医療用・検査用・治療用コンタクトレンズ等の研究と商業化を進めていく

### 新しい光学デザイン



シード1dayPure EDOF (遠近両用コンタクトレンズ)

ブレスオーコレクト (オルソケラトロジー)



トリガーフィッシュ センサー (角膜曲率変動測定計)  
トリガーフィッシュ (テレメトリー式生体信号測定装置)



近視チェック  
《横浜近視予防研究所株式会社》



METORI-50V (スマートフォン設置型撮影装置)



わんタクト・にゃんタクト (動物用バンテージコンタクトレンズ)



RETISSA® Display II・RETISSA®メディカル  
《株式会社QDレーザ》

DDS (薬剤・薬液との融合)  
花粉症対策

医療分野  
新商材

医療用  
内視鏡フード

次世代レンズ  
etc...



ものいわぬ  
動物たちの  
ために、

デバイスとしての進化

医療分野への進出

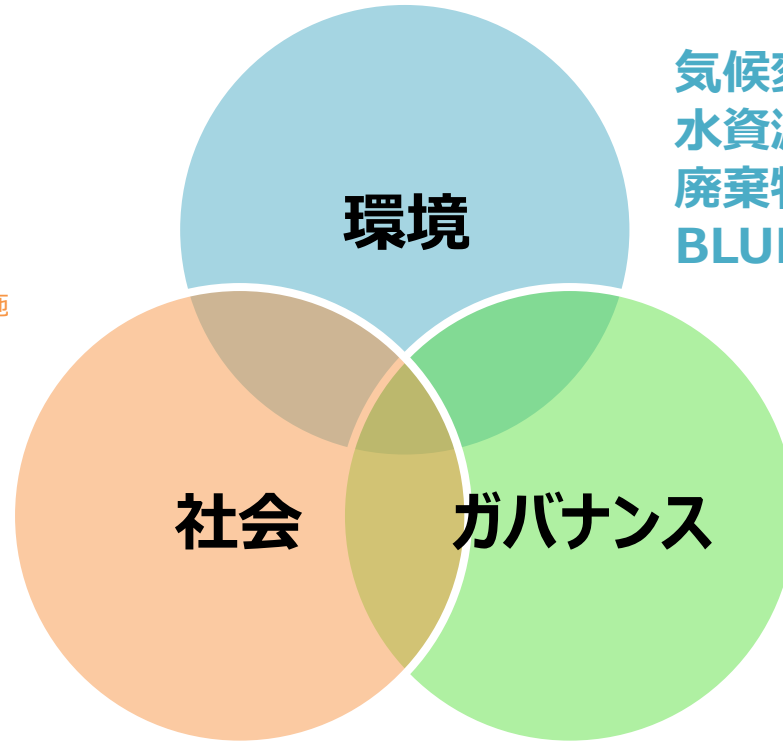
シードの使命を全うするため、経営理念を実践し、社会に必要とされる企業であり続けます



アイメイト（盲導犬）の募金活動を実施



保育・児童施設  
「ふくろうの森」2018年4月開園



気候変動への対応  
水資源の有効活用  
廃棄物削減  
BLUE SEED PROJECT



鴻巣研究所屋上に太陽光発電を設置

社会・地域との連携  
人材育成  
働きやすい職場づくり  
労働安全衛生  
品質管理体制

取締役会と執行役員制度を採用  
各分野を専門とする人材を選定  
リスク・セキュリティ管理委員会等の設置

1. 2021年3月期 決算概要
2. 2021年3月期 トピックス
3. 3ヶ年中期経営計画振り返り
- 4. 2022年3月期 見通し**
5. 参考資料

連結

[百万円] 百万円未満切捨て

	2021年3月期	2022年3月期見通し	＜参考＞前期比較 <sup>※</sup>	
			増減額	増減率
売上高	28,617	29,500	-	-
		30,210 <sup>※</sup>	1,593	+5.6%
営業利益	1,195	1,250	55	+4.6%
(営業利益率)	4.2%	4.1%	△0.1%	
経常利益	1,211	1,150	△61	△5.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,129	600	△529	△46.9%

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等適用前とした場合

- 売上高 : EDOF、View Support、オルソ等高付加価値レンズの販売強化等により、売上高の回復とマーケットシェアを維持
- 営業利益 : 破棄・ムダの削減で利益を創出しながらも競争力維持のための投資は実施

## 国内営業

- ・Pureシリーズを中心とした、新規患者の創造
- ・積極的な営業活動を行い、遠近（EDOF）、View Support、オルソを伸ばす
- ・新色を発売し、カラコンのシェア拡大
- ・DXを活用し、物流も含めたサービスの向上
- ・企業ブランディング

## 海外営業

- ・販売国・販売商品など「面」を増やす販売戦略を継続
- ・戦略商品（EDOF、Silfa、オルソ）の拡大
- ・中国現法は変化の激しい市場環境に適応し、海外事業の中心となって全体をけん引

## 財務の 健全性強化

- ・連結収支改善、連結子会社の黒字化
- ・廃棄の削減、粗利率の向上
- ・借入金の圧縮

## 生産体制

- ・さらなる生産の効率化、省人化
- ・生産計画に基づく生産数の実現と、適正在庫の維持
- ・シリコンハイドロゲル素材を用いた製品の増産体制確立

## 研究開発

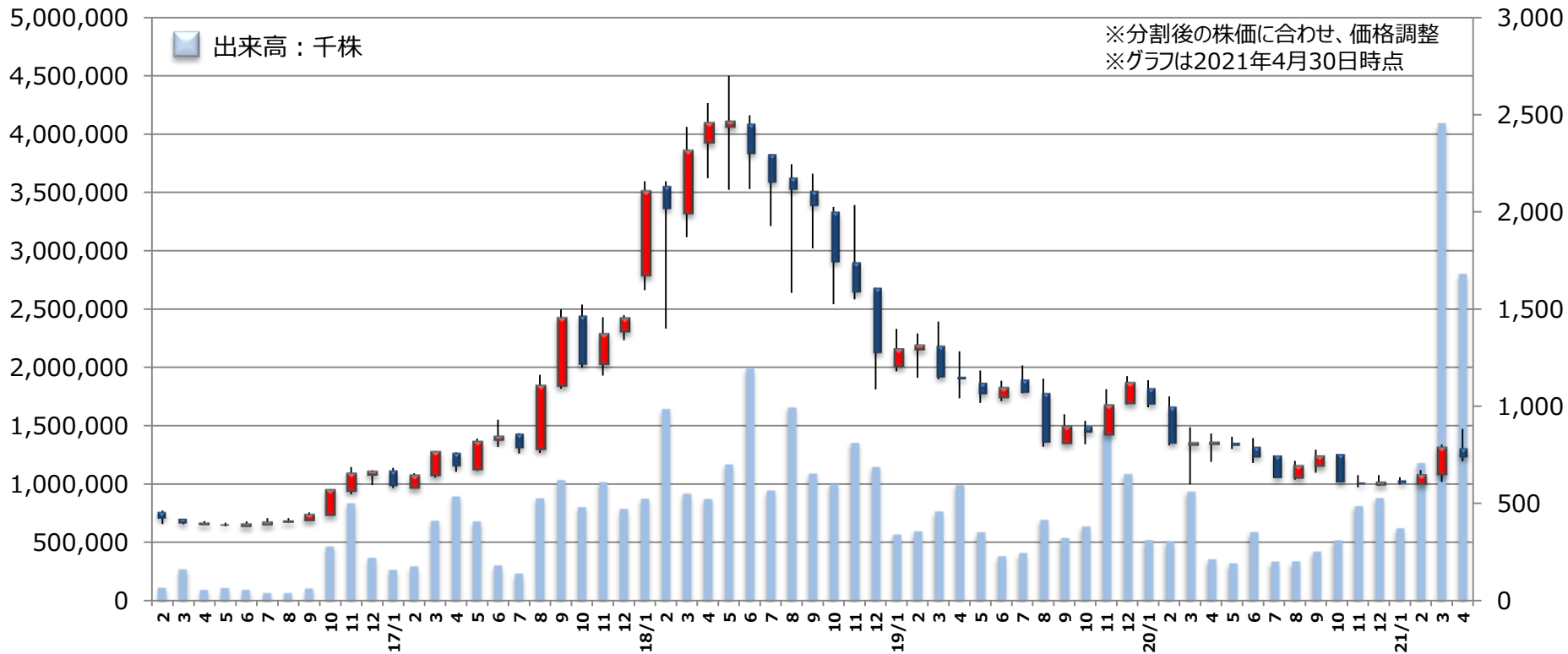
- ・医薬品を配合したコンタクトレンズの実用化の推進
- ・近視進行抑制分野への展開を目指した製品の開発の推進
- ・センシング技術に関する研究開発の推進

## その他

- ・プライム市場への移行を目指し、企業価値のさらなる向上
- ・本社老朽化に対応し、2024年新社屋設立に向け、準備を開始

# プライム市場への移行を目指した取組

プライム市場への移行を目指し、企業価値のさらなる向上を目指してまいります



## 実施済

- ・自己株式消却
- ・持ち合い株の解消  
(A社：473千株、B社：108千株)
- ・配当の維持（12円）
- ・株主優待拡充

## 今後の取組

- ・IR活動の推進・強化、情報発信の充実
- ・バランスシートの質の向上
- ・利益率の向上

1. 2021年3月期 決算概要
2. 2021年3月期 トピックス
3. 3ヶ年中期経営計画振り返り
4. 2022年3月期 見通し
- 5. 参考資料**



- 本社：東京都文京区本郷二丁目40番2号
- 設立：1957年10月9日(昭和32年)
- 上場：1989年12月(平成元年12月) 店頭公開(現 JASDAQ市場) 証券コード：7743
- 資本金：1,841百万円
- 従業員：988名(連結) ※2021年3月31日現在
- 営業所：8 (札幌・東京・名古屋・大阪・福岡 他)、その他駐在12 (盛岡・静岡 他) ※2021年4月1日現在
- 工場・研究所：シード鴻巣研究所(埼玉県鴻巣市)

## 沿革

- 1957年10月 会社設立 商号「(株)東京コンタクトレンズ研究所」
- 1985年11月 ブランド名をマイコンから「シード(SEED)」に変更
- 1987年2月 商号変更「(株)シード」
- 2007年7月 鴻巣研究所を竣工
- 2011年1月 鴻巣研究所 ISO13485取得、CEマーキング指令適合
- 2014年3月 東京証券取引所市場第二部に市場変更
- 2014年8月 鴻巣研究所2号棟竣工
- 2016年6月 研究棟竣工
- 2017年3月 東京証券取引所市場第一部に指定
- 2017年9月 鴻巣研究所3号棟竣工
- 2017年10月 おかげさまで創立60周年
- 2018年4月 保育・児童施設 ふくろうの森 開園
- 2020年11月 鴻巣研究所 製品・資材倉庫棟 新設



「東京コンタクトレンズ研究所」  
当時の社屋



鴻巣研究所



保育・児童施設 ふくろうの森

# 取扱商品 ~コンタクトレンズ~

1day・2weekからハードコンタクトレンズまで、幅広い商品展開で細分化するニーズにきめ細かく対応しています。

## ■純国産Pureシリーズ



シード1dayPure  
うるおいプラス



シード1dayPure  
View Support



シード1dayPure  
EDof



シード2weekPure  
うるおいプラス

乱視用



シード1dayPure  
うるおいプラス乱視用

遠近両用



シード1dayPure  
マルチステージ

乱視用



シード2weekPure  
うるおいプラス乱視用

遠近両用

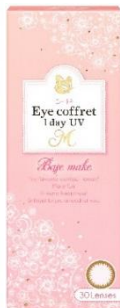


シード2weekPure  
マルチステージ

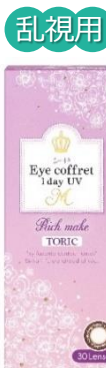
## ■サークルレンズ



シード Eye coffret 1day UV M

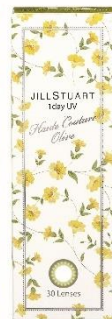
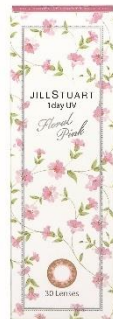


シード Eye coffret 1day UV M  
View Support



シード Eye coffret 1day UV M  
TORIC

## ■カラーレンズ



ジルスチュアート 1day UV



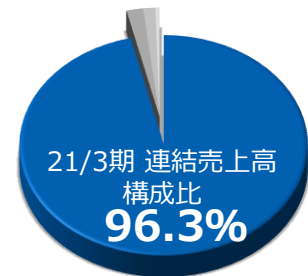
## ■従来型コンタクトレンズ

ハードコンタクトレンズ  
全7種8品

ソフトコンタクトレンズ  
全4種

## ■特殊レンズ

ブレスオーコレクト  
シード 虹彩付ソフト  
シード Bi-Expert  
ユーソフト



## ■Fineシリーズ



シード1dayFine UV plus



シード2weekFine UV plus



ヒロインメイク  
1day UV M

## コンタクトレンズケア用品事業

コンタクトレンズを快適にお使いいただくためのケア用品を各種提供しています。

1.9%

21/3期連結売上高  
構成比



フォレストリーフ  
ソフトコンタクトレンズ用  
洗浄・保存・すすぎ液



ピュアティモイスト  
酸素透過性ハードコンタクトレンズ用  
酵素洗浄保存液



ジェルクリンW  
酸素透過性ハード・  
ソフトコンタクトレンズ用洗浄液

## 眼鏡事業

イメージキャラクターを採用したオリジナルブランドのメガネフレームなどを展開しています。

1.4%

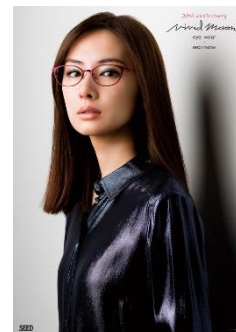
21/3期連結売上高  
構成比



プラスミックス  
松岡廣大さんイメージキャラクター



ビビッドムーン  
北川景子さんイメージキャラクター



Pheasant



FACET  
femme

## 産業廃棄物を有価物として再資源化

## プラスチック混合物の再資源化フロー構築

シード鴻巣研究所のコンタクトレンズ製造工程で産業廃棄物として処理していたプラスチック混合物有価物として再資源化するフローを 2021 年 4 月に構築いたしました。



プラスチック高度リサイクル・システム  
「ドックス」



## BLUE SEED PROJECT ～海に愛(Eye)を～

## プラスチック廃材のリサイクル

プラスチック製品を使用している企業としての責任から、持続可能な社会を目指し発足したプロジェクトです。

2019年7月～2021年4月末までに  
1400kgのプリスターを回収し、リサイクル事業者へ提供

眼科・販売店145店舗（子会社含む）、8企業※に回収箱設置のご協力をいただいております。順次拡大しております。

※2021年4月末現在



## 2020年11月29日 SEED VIETNAMサッカー国際大会開催

ベトナムの日系スポーツスクール「Sakura Sports Academy」と協力し、“2020 SEED VIETNAMサッカー国際大会”を開催。スポーツを通じて日本教育を世界に発信し、現地の子どもたちが夢を持ち、叶えることができるよう支援。



## 2020年8月7日 シード社員による子供向け理科実験教室配信開始

子どもたちに理科の楽しさや不思議を伝えるため、コンタクトレンズに関連した「見える」「光」「ゲル」をキーワードに、実験教室のYouTube配信を実施。第6回は「巨大シャボン玉をつくってみよう」を3月25日（木）より配信。



※2021年5月20日現在

## 国内関係会社

\*株式会社シードアイサービス

\*株式会社アイスペース

\*株式会社ユニバーサルビュー

横浜近視予防研究所株式会社

## 海外子会社

\*実瞳商貿有限公司 (中華人民共和国)

\*Sensimed SA  
(スイス)

\*上海実瞳光学科技有限公司 (中華人民共和国)

\*SEED INTERNATIONAL LTD.  
(イギリス)

上海実瞳商務咨询有限公司 (中華人民共和国)

\*Wöhlk Contactlinsen GmbH  
(ドイツ)

\*SEED CONTACTLENS ASIA PTE.LTD.  
(シンガポール共和国)

\*SEED Contact Lens Europe GmbH  
(ドイツ)

\*台灣實瞳股份有限公司 (台湾)

SEED CONTACT LENS (M)SDN.BHD  
(マレーシア)

\*Contact Lens Precision Laboratories Ltd.  
(イギリス)

SEED CONTACT LENS (ANZ) PTY LTD.  
(オーストラリア)

\*Ultravision international Ltd.  
(イギリス)

SEED CONTACT LENS VIET NAM CO, LTD.  
(ベトナム)

\* : 連結子会社

# SEED

「見える」をサポートします

本資料に関するお問い合わせ

株式会社シード 経営企画部

TEL 03-3813-1650

またはホームページお問い合わせフォーム

<https://www.seed.co.jp/contact/>

当資料の見込みに関しては、現時点において入手可能な情報及び当社の計画・戦略に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の経済情勢・業界動向等、様々な要因により異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存しての投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。